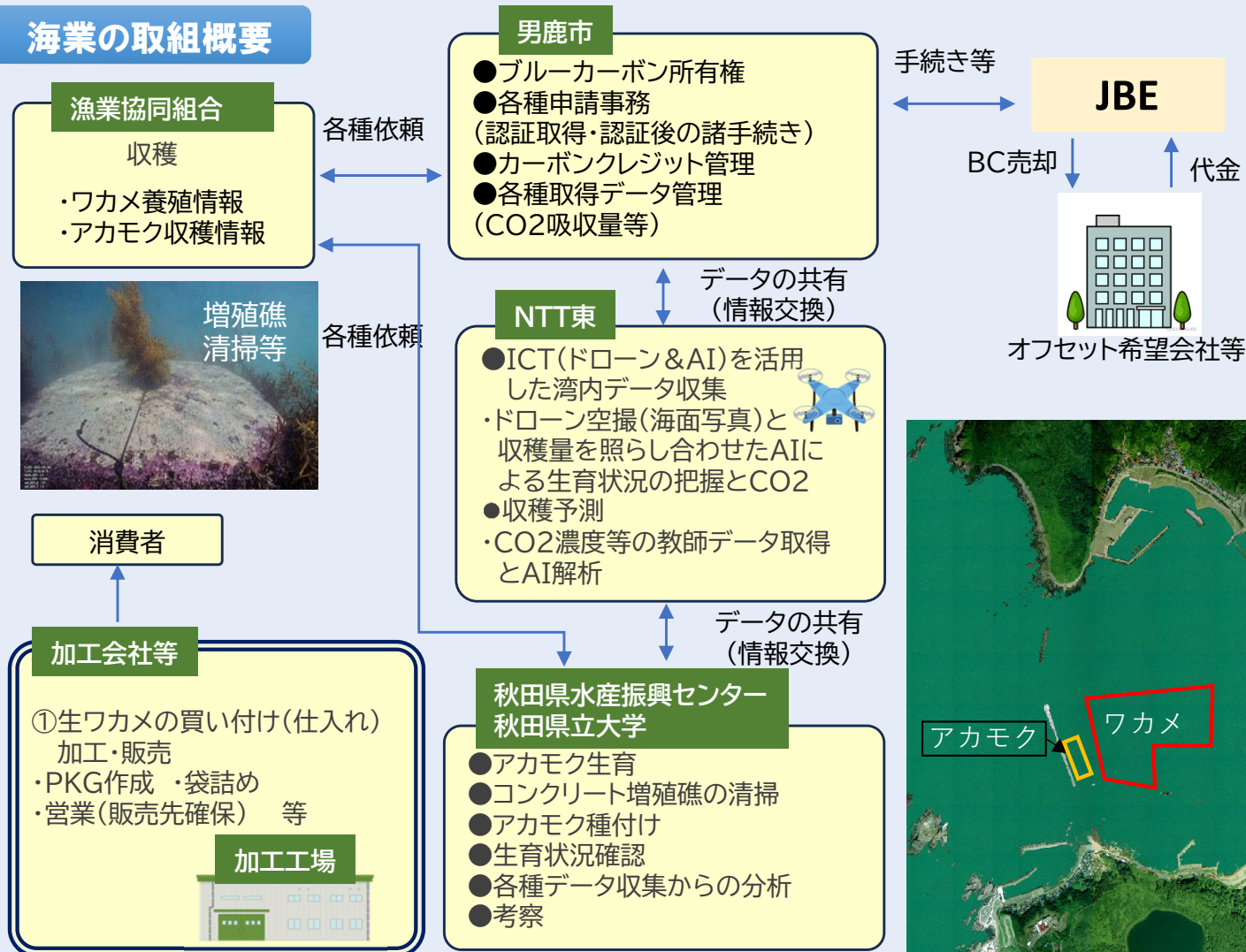


概 要

- 2050年地球温暖化対策、温室効果ガス排出量「0」に向けたカーボンニュートラルの取り組み施策の一つ。
- 三方が海に開けている男鹿市の観光ポテンシャルを生かし、「海×脱炭素×地域経済循環」をキーワードに、漁業者が海藻増養殖に取り組むことで、海洋資源が維持・再生され、ブルーカーボンによる脱炭素が期待されると同時に認証後における海産物類のブランド化による活性化を期待する。



海業の取組概要



効 果・期待する目標

- ・減少傾向にあるアカモクの再生に努める。令和6年0トン→令和11年5トン。
 - ・販路が少ないことで生産を抑えているため、新たな販路を確立し、養殖ワカメの生産拡大に努める。令和6年23トン→令和11年100トン※。
- ※戸賀湾全体のリソースを最大限活用した場合

協力体制

- ・男鹿市・秋田県水産振興センター
- ・秋田県漁業協同組合・秋田県立大学
- ・東日本電信電話株式会社宮城事業部

スケジュール

- 令和7年2月 秘密保持契約
- 令和7年3月 協定締結、報道発表
- 令和7年3月～令和8年3月 ドローンなどによる海洋調査検証
- 令和8年3月 ブルークレジット認証取得申請